

平成 26 年度 第 204 回教育研究審議会議事要録

日時 平成 26 年 5 月 13 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 55
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、江本事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、木原国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

配布資料

- 1-1 欠員補充申請書 (法学部)
- 1-2 欠員補充申請書 (法学部)
- 2-1 平成26年度スーパーグローバル大学創成支援事業への申請について
- 2-2 平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」公募要領
- 2-3 スーパーグローバル大学構想調書で求められる成果指標
- 2-4 グローバル人材育成推進事業の実施状況
- 3-1 平成26年度大学教育再生加速プログラムへの申請について
- 3-2 大学教育再生加速プログラム 事業説明資料
- 4 「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」の見直し・運用改善について

第 1 号 教員の採用について

* 資料1-1のとおり、法学部からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで定年退職した吉村弘教授の後任として、刑事訴訟法学分野担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2のとおり、法学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職した古賀哲矢教授の後任として、都市政策論分野担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

報告

① 平成 26 年度スーパーグローバル大学創成支援事業への申請について、資料 2-1~2-4 のとおり報告があった。構想調書に記載する目標設定、採択された場合の学部への影響、今後の大学の方向性等について、次のような説明があった。

- ・ 「スーパーグローバル大学創成支援事業」の募集が平成 26 年度限りとなる可能性が高いため、当該事業に申請することとしたい。
- ・ 目標値は、実現性を損なわない範囲で挑戦的なものが求められているが、現行の「グローバル人材育成推進事業」の目標値を下げることはできないとのことであった。
- ・ 採択されると、学部等においては、「単位化」、「必修化」、「入試制度の見直し」などが求められることが想定される。
- ・ 本学教員の任期制の見直し (再任審査後に無期に変更) がテニユア・トラック制に該当するかどうかは文科省に確認する。
- ・ グローバルな人材が地域で活躍・貢献できるような仕組みが必要ではないか。
- ・ グローバルと地域とは車の両輪であり、地域で培った知見をグローバルに発揮していくという視点も重要である。

- ② 平成26年度大学教育再生加速プログラムへの申請について、資料3-1～3-2のとおり報告があった。
- ③ 研究活動の不正行為への対応について、資料4のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を5月27日（火）に開催する予定である旨、報告があった。